

# 堆肥の有効活用のすすめ(令和6年度版)

日田市は、環境負荷を低減した『日田式循環型農業』に取り組んでいます。

市内の畜産農家では、良質な堆肥が生産されています。

堆肥を活用し、環境にやさしい農業に取り組みましょう。

## 【知っておきたい堆肥のこと】

作物の栽培は、適期にバランス良く肥料成分や土壌改良成分を与えることが大切です。

土壌診断を実施し、堆肥の活用だけでは不足している肥料成分を化学肥料で補えば、肥料費の節約にもつながります。

堆肥が完熟でない場合は、定植(播種)直前の施用は避けましょう。

## ○品目別堆肥施用量の目安

(単位:トン/10a)

作物		牛糞堆肥	豚糞堆肥	鶏糞堆肥
水稲		1.5~2.0	0.5~1.0	0.3
野菜	葉菜類	1.5~2.0	0.5~1.0	0.5
	根菜類			0.1~0.2
	果菜類			0.5
果樹		1.5~2.0	0.5~1.0	0.5
茶		3.0~5.0	2.0~2.5	0.5

\*堆肥の重量換算:木質系1㎡≒0.6トン、稲ワラ・山草系1㎡≒0.5トン

\*施用量は、あくまでも目安です。

土壌によって肥料分の多少がありますので、土壌分析を行って施用量を決めましょう。

## ○散布の目安

1反当たり2トンの目安:表面にまばらに飛散する程度

1反当たり5トンの目安:表面の1/3~1/2が堆肥で覆われる程度

## ○堆肥の効果

堆肥の種類	効果			特徴
	肥料的	化学性改良	物理性改良	
牛糞堆肥	小	中	大	他の畜産堆肥に比べ肥料成分含量が低く、腐植質を多く含むため、土壌物理性改善効果が高い。
豚糞堆肥	中	中	中	牛ふん堆肥に比べ、窒素とリン酸の含量が多く、カリが少ない。土壌中での分解は牛ふんに比べ速く、牛ふんと鶏ふんの中間的な性質をもつ。
鶏糞堆肥	大	大	小	肥料的効果が高い。窒素含量が高く、土壌中での分解が速い。

## ○堆肥の肥効率

堆肥の種類	窒素(N)	リン酸(P)	カリ(K)
牛糞堆肥	30%(10~40)	60%	90%
豚糞堆肥	50%(30~70)	60%	90%
鶏糞堆肥	50%(30~70)	70%	90%
パーク系堆肥	20%(10~30)	60%	90%

$$\text{堆肥の有効成分(Kg)} = \text{堆肥の施用量(kg)} \times \frac{\text{堆肥の成分含有率(\%)}}{100} \times \frac{\text{堆肥の肥効率(\%)}}{100}$$

※ 堆肥が必要な方は、裏面に供給農家や堆肥成分、堆肥の特徴等を掲載しています。参考にしてください。